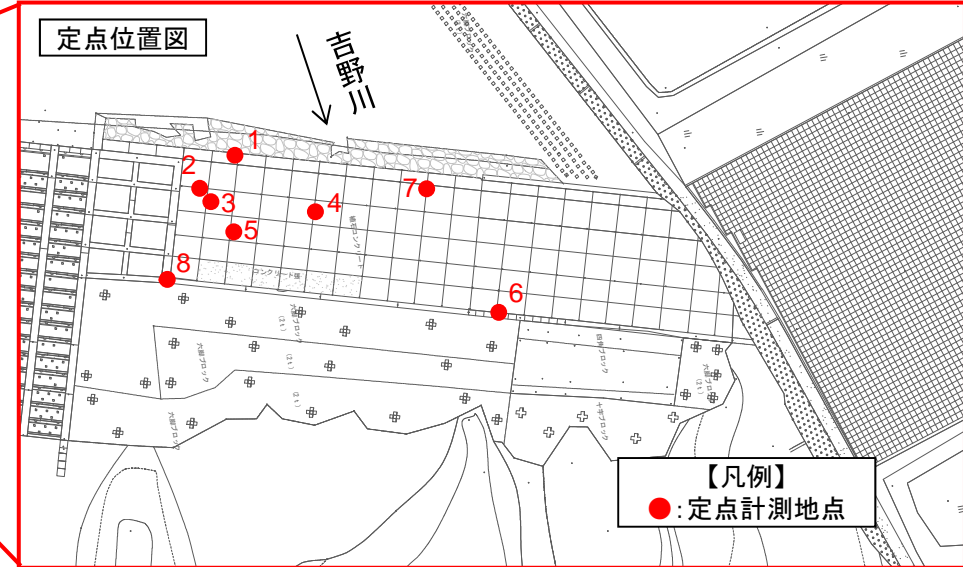
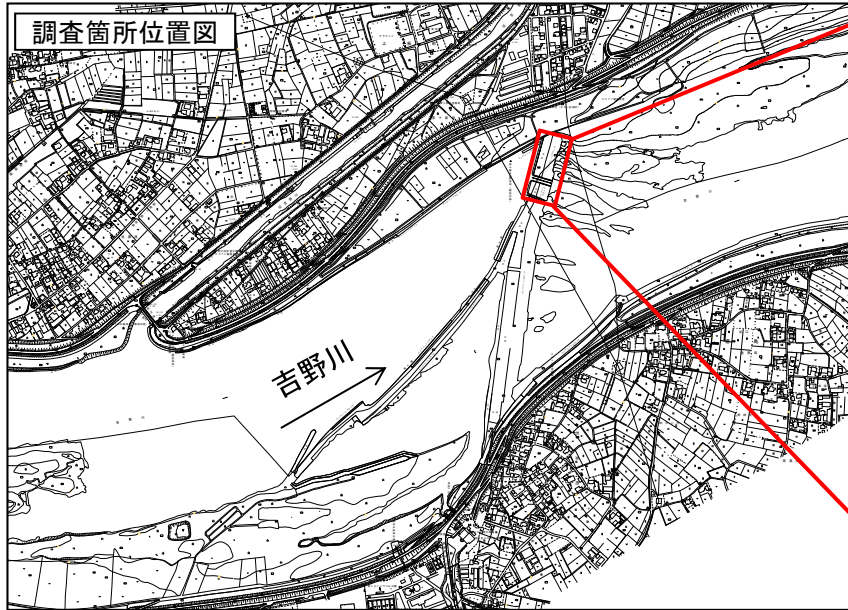


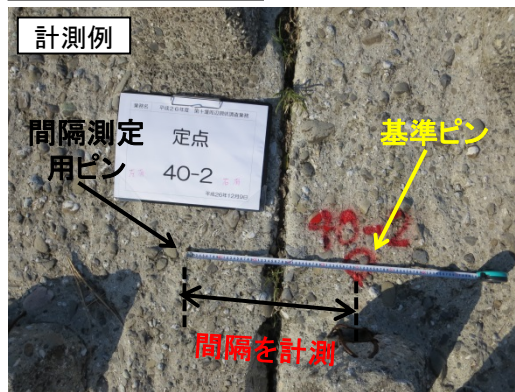
《別添一1》形状調査

形状調査

平成16年度調査で抽出された主な変状箇所を定点観測地点として設定し、変状箇所の状況確認及び変状幅や変位置を計測することで、その後の経年変化を定性的および定量的に把握するため調査を行っています。今年度の調査は、現地に設置している測量ピンの計測が可能な下堰の第一魚道より北側に位置する8箇所を実施しました。



● 定点変状幅調査

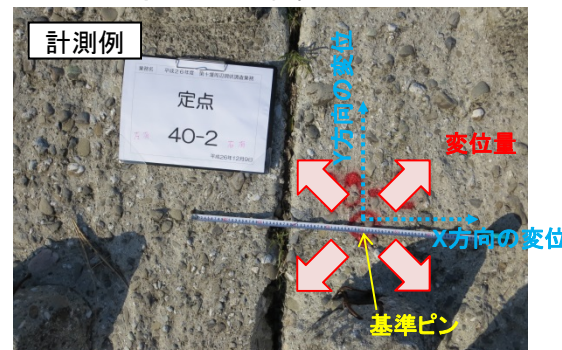


現地に設置している基準ピンと間隔測定用ピンの間隔をメジャーにより簡易計測することで、経年的な変状幅を定量的に把握しています。

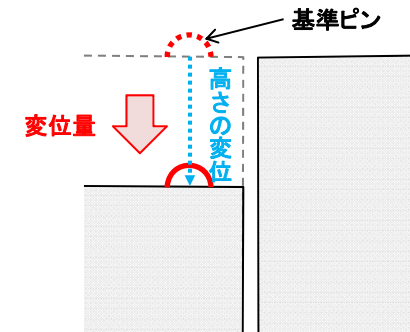
● 定点変位置調査

現地に設置している基準ピン単独の水平方向の位置及び鉛直方向の高さを計測することで、経年的な変位置を定量的に把握しています。

< 水平方向の位置計測 >



< 鉛直方向の高さ計測 >

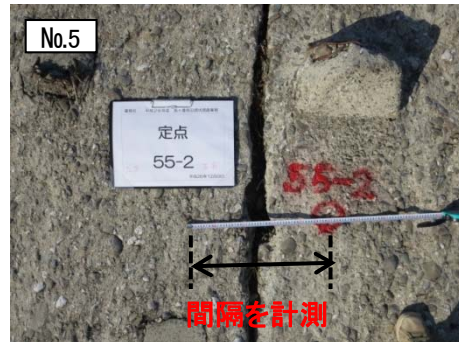
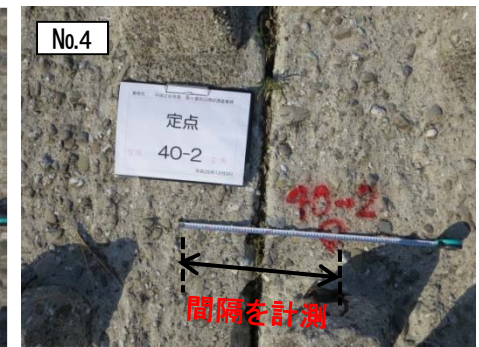
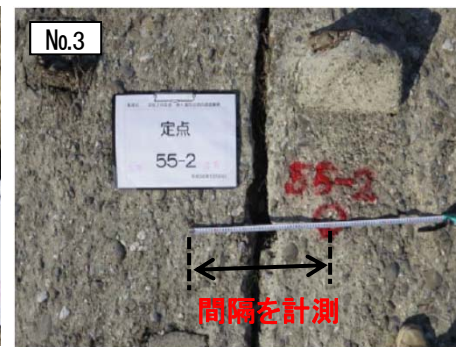
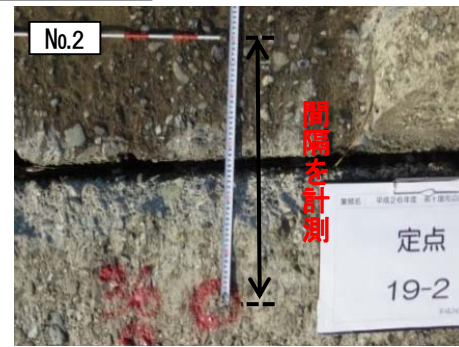
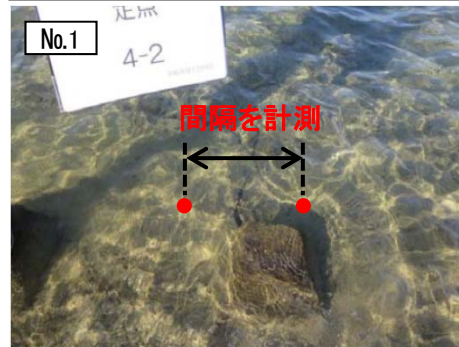
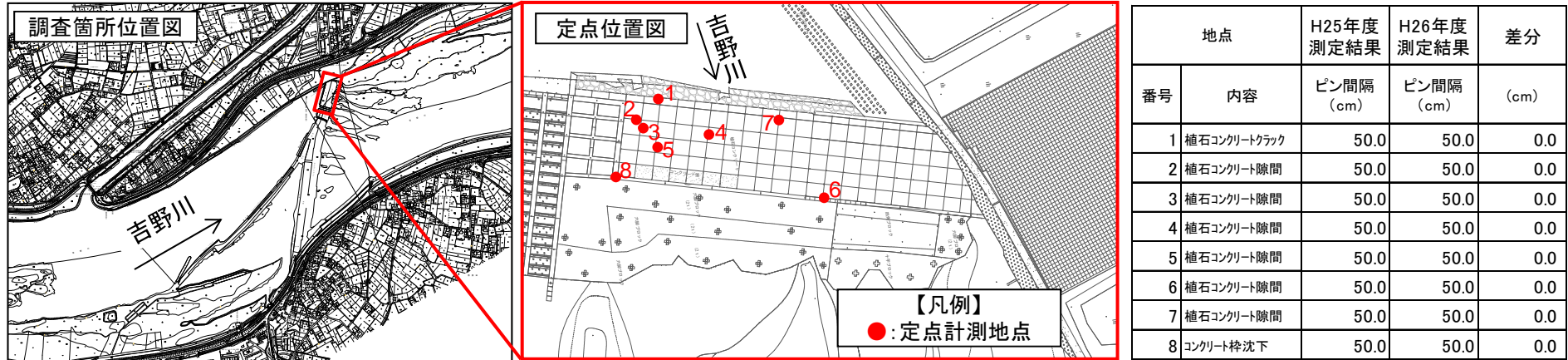


形状調査（定点変状幅調査）

(1) 定点変状幅調査

調査は、変状を挟むように設置した測量ピンの間隔をメジャーにより簡易計測することで、経年変化を定量的に観測するとともに、変状箇所の観察や写真撮影を行い、定性的に把握しました。

また、変状箇所に対する大きな変化は確認されず、過年度の変状幅と比べても計測箇所全体として大きな変化は認められませんでした。



形状調査 (定点変位量調査)

(2) 定点変位量調査

定点観測地点に設置した基準ピンについて、ピン単独の水平方向及び鉛直方向の変位量を計測しました。計測の結果、過年度の変位量と比べても大きな変化は認められませんでした。

